

あの手 この手

2016
7月号



【市民活動にこの人あり】第4回
チームしらかし華の会の伊藤さんご夫妻。
大和駅東側プロムナードの花壇前にて。

あの手この手のマークの間のSはsolution(解決)のSです。

第108号 2016年7月10日 大和市民活動センター 拠点やまと発行



「楽しい夏祭り」

板戸耀央さん(緑野小6年)

僕は、夏祭りで食べる綿菓子が大好きです。
綿菓子を見る僕の目に注目して下さい。



「阿波おどりで笑顔」

齊藤花歩さん(鶴間中2年)

私は大和の阿波おどりをみて、華やかな衣装と綺麗なおどりにとても魅了され、自然と笑顔になりました。なので、もっと大和の阿波おどりで笑顔になれる人が増えるといいな！という思いで描きました。

2016年度の表紙は、第7回やまと子ども絵画大賞の入賞作品を掲載しています。今号は、優秀賞を受賞した作品です。

被災地から学ぶ防災

第72回 共育セミナー

アニメ映画「無念」上映会

命あることを知りながら原発事故により救助に行くことを止められた消防団。団員の胸に今も渦巻く「無念」の想いとは何なのか！一人でも多くの方に知っていただくため、紙芝居からアニメ映画に発展させた映画「無念～浪江町消防団物語」を上映します(約50分)。あわせて、私たちが被災地から学べるように、熊本地震に支援に行った方のお話もうかがいます。

日時：7月17日(日)

10:00～12:00(1回目上映+お話し会)

13:00～「このゆびとまれっ！」オリエン

15:00～2回目上映/主にオリエン参加者向け

この夏、ボランティアを始めたいあなたへ

出張！ボランティア総合案内所

ボランティアで新たな出会いや経験をしてみませんか？
お買い物ついでに気軽にお立ち寄りください。

日時：7月19日(火) 10:00～14:00

会場：イオンモール大和(大和オークシティ)2階
ライトコート吹き抜け付近

主催：大和市・大和市民活動センター

問合せ：大和市役所市民活動課 電話046-260-5103

お話：やまと災害ボランティアネットワーク 市原信行さん

デイサービスゆらり大和 施設長 野間康彰さん

NPO法人 よこはま・七つ星 高松清美さん

会場：勤労福祉会館3階ホール(鶴間駅下車徒歩6分)

申込：当センターまで(電話 046-260-2586)



箸袋作り講師
長野富喜子さん



箸作り講師
茂木義明さん

第71回 共有 セミナー報告

みんな揃って
カンナ作業



箸作り講師
平沼芳子さん



子どもも上手に針を使いスゴイ!

3月の「まちづくりワークショップ」で提案のあった箸と箸袋作り講座を、6月19日に大和市民活動センターで開催しました。参加者16名に対し箸作り講師陣はハウスマンテマスターが計5名と充実。始めに平沼さんから箸のウンチクの話。器を手に持ち箸だけで食事をするのは日本独自の文化とか。箸作りはまずはカンナに悪銭苦闘。しかし次第に慣れその後ヤスリで仕上げ。

続いて長野さんからエコの話。日本人は248億膳も割箸を使っているとか。箸袋の素材は、素敵な着物の端切れを多数ご持参いただき、みんな自分の気に入った柄を楽しそうに選び作っていました。「ものづくり」の楽しさを満喫できた3時間でした。



素敵な箸袋が
できニコリ。



中高生の夏休みボランティア体験 このゆびとまれっ!

中高生の社会参加の第一歩として、夏休みボランティア体験「このゆびとまれっ!」を毎年実施しています。先生や家族以外の大人と親交を持つことで、社会の多様性を学び、市民活動による課題解決を学ぶよい機会となります。

◆「このゆびとまれっ!」のお約束

ボランティアは何よりも自発性が大切です。中高生だからといって親の代理申込はできません。当センターに**本人がお電話ください**。また、活動内容をよく理解し心構えを身につけていただくために、オリエンテーションへの参加を必須としています。

7月17日(日) 大和市勤労福祉会館 3Fホール
13:00~15:00です。必ずご参加ください。

お年寄りの話相手をする

ハッピー鶴間 ゆらり大和倶楽部 げ・ん・き
いずれも、入浴・レクリエーションなどで一日を楽しく過ごせるデイサービスを提供しています。

みんなでイベントを盛り上げる

大和市芸術文化振興会
ウィーンホールで広く芸術鑑賞の機会を提供し心豊かな地域づくりを目指しています。

インドの子どもたちの写真パネルを作る

チームピース チャレンジャー
フェアトレード・リサイクル・インドの子どもたちの写真展開催などの活動をしています。

提供品の整理と接客をする

NPO法人WE21ジャパン大和
寄付された衣料・雑貨の販売収益でアジア女性の自立を支援しています。

2016年度
受け入れ団体
「やまと国際フレンドクラブ」
「ゆらり大和倶楽部」
「げ・ん・き」が加わり
計11団体に
なりました!

視覚障がい者と卓球をする

サウンドテーブルテニス(STT)クラブ
STTを通し、視覚障がい者同士の情報交換やボランティアとの交流をしています。

子どもたちに勉強を教える

やまと国際フレンドクラブ
外国にルーツを持つ子どもたちに夏休みの宿題を教える「学べ〜」などを実施しています。

知的障がい児のイベントに参加する

NPO法人サポートハウス ワンピース
リラックスできる場を提供し、障がいを持つ子どもたちと家族の生活を支援しています。

子どもと遊ぶ

NPO法人地域家族しんちゃんハウス
障がい者からお年寄りまで集える居場所を目指しています。

協働事業 公開プレゼンが開催されました。

7月2日(土) 大和市勤労福祉会館ホール

- ・NPO法人大和市腎友会「障がい者と地域住民とのふれあい体験活動を通じた共助・共生社会の実現を目指す事業」
- ・Lick Luck「入院患者さんの『癒しの場』提供事業」

平成28年度協働事業公開プレゼンテーションに臨んだのは左記2団体。すでに6月28日に市長が協働推進会議に諮問。8月1日に同会議から市長に答申後、8月22日に検討結果報告会が開催され、実施決定団体には「採択決定通知書」が渡されます。

お気軽に! 定例相談日

- ◆市民活動相談=7月11・25日(月)・8月8日(月) ※毎月第2・4月曜の10~17時
 - ◆ボランティア相談=7月9・23日(土)・8月13日(土) ※毎月第2・4土曜の10~17時
 - ◆パソコン相談=7月12・26日(火)・8月9日(火) ※毎月第2・4火曜の14~17時
- ※予約不要ですが、事前に電話予約していただいた方が、お待たせすることもなく確実です。

同じ桜を見て想いをともにする

【市民活動にこの人あり】第4回

チームしらかし華の会 伊藤健一さん

伊藤さんご夫婦が大和駅東側プロムナードにある花壇を手入れしていると、おじさんが声をかけてきた。チームしらかし華の会が育てる花壇には女川町のポスターが貼ってある。おじさんは仙台の出身で、ポスターの意味を尋ねたのだった。こうして同郷人同士ならではの会話がしばし続いた。ささやかだが、この花壇も確実に活動PRの役割を果たしている。

伊藤さんは仙台生まれの団塊の世代。大学院まで仙台で過ごし就職を機に上京。1978年から大和市民だ。定年まで勤め上げ、退職後ハローワークで職業訓練校の存在を知る。最高齢ながら無事選考を通り木工のコースに2008年からまる1年通った。ここで身につけたスキルが、卒業後に参加した泉の森ボランティアでも看板づくりなどで活かされている。

2011年、東日本大震災では、宮城県女川町に住む大学ワンゲル時代の仲間藤中さんの家も流された。道路の復旧を待ち4月に現地を訪問。惨状を目の当たりにし、車泊でボランティア活動を1週間続けた。伊藤さんは泉の森ボランティアに状況を報告し、自分たちも何ができるか考えようと呼びかけた。こうして結成されたのがチームしらかし華の会だ。

藤中さんから、津波で砕けた桜の木に2、3輪の花が咲き、なんとか助けられないかとの連絡があった。樹木医にも見てもらったが、その甲斐なく翌年枯れてしまった。伐採後、現地の人の希望もあり、京都の仏像師に丸太を届けお地藏様として生まれ変わった。納めるための地藏堂も、職業訓練校の友人と二人で製作し女川町に届けた。伊藤さんの木工人脈とスキルが、ここでも一役買っている。

藤中さんたちは、津波で茶色の街と化した女川町を桜の町にして彩りを取り戻そうと女川桜守りの会を結成。今後千年に渡り、十万本の桜を植え続けてゆこうという計画を立て、桜

は大漁桜を選んだ。チームしらかし華の会では、「桜の下草には紫陽花が良い」と日本花の会からアドバイスを受け、泉の森に多く咲く紫陽花を、挿し木で苗を育て女川町に植え、支援活動を続けてきた。

同じ桜を見て復興への想いをともにしようと、女川町の大漁桜はプロムナードの花壇にも2本移植された。しかし、11月に落成する芸術文化ホールの周辺整備に伴い花壇は撤去される。そのため、この大漁桜は民家園とふれあいの森草柳広場に移され、いまも大和市民と生活をともにしている。花壇に植えられた紫陽花などの植栽は、現在引き受け手を募集中だ。

会としてはこれまで3回、伊藤さん個人としては20回以上現地に通ってきた。しかし、活動を始めてまる5年。花壇撤去のタイミングを機に会としての活動を終了し、今後は個人レベルの支援を続けたいと伊藤さんは言う。市内の大漁桜を見て、被災地に想いを馳せ、私たち自身の防災について考えていきたいものである。



▲花壇の手入れに余念がない伊藤健一さん



イベント・募集情報



OKバジさん帰国講演会 ネパール地震の現状を語る

OKバジさんこと垣見一雅さんはネパールに移り住んで21年。村びとたちの話を聞き、教育・健康・生活自立などの問題解決の支援をしています。その活動の様子は、5月16日にテレビ東京「世界ナゼそこに?日本人」でも紹介されました。是非、直接OKバジさんの生の話をお聴きください。

日時：7月19日(火) 14:00~16:30 (開場13:30)

会場：生涯学習センター 207号室

※大和駅北口から北へ徒歩8分

会費：500円

申込：不要(直接会場にお越しください)

主催：認定NPO法人いきいきフォーラム草の根支援

TEL 046-267-3007 (伊藤)

ドイツ・オペラ研究第一人者による音楽文化講座 「第九(だいく)」を楽しむために!

ベートーヴェンの交響曲第9番は、合唱が加わる第4楽章の存在によって、多くの日本人に親しまれてきました。今回はシラーの詩『歓喜に寄す』に焦点を当てつつ、破天荒な内容と形式を持つこの作品の魅力を多角的視点から読み解き、音源や映像も交えながら、山崎太郎氏からお話をうかがいます。

日時：7月23日(土) 15:30~17:00 (先着40名)

会場：渋谷学習センター304号室(高座渋谷駅前IKOZA3F)

会費：一般1000円、合唱団員・オペラ協会会員無料

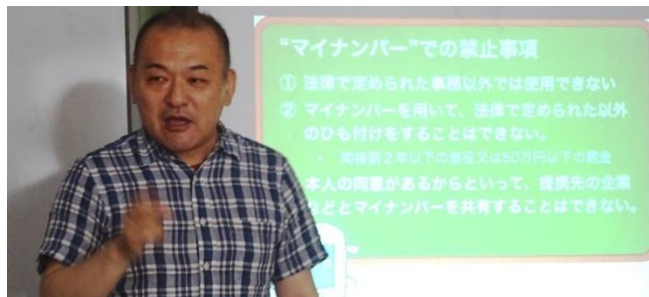
サポーター会員・当日12/11公演チケット購入者500円

※当日サポーター会員(年1000円)申込者も500円

主催：やまと国際オペラ協会 <http://yioa.net>

問合せ・申込：TEL & FAX 046-272-1885 info@yioa.net

マイナンバー&イーパーツ寄贈 プログラム説明会を開催しました。



マイナンバーと、NPOがパソコンなどを入手できるイーパーツ寄贈プログラムの説明会を6月30日に大和市民活動センターで開催しました。認定NPO法人イーパーツとその事務局を務める藤沢市市民活動推進センターのご支援で実現。講師は大学で情報倫理も教えているイーパーツ常務理事事務局長の会田和弘さん。参加者は計16名でした。

NPOでもできる安全管理措置として「①閲覧できる機器や場所を制限(USBメモリはNG) ②個人情報にアクセスできる人の制限 ③マイナンバー利用時はダブルチェック ④責任者を定める ⑤もしもに備えて利用状況などを記録 ⑥PCのセキュリティ対策と⑦無線LANの暗号対策も忘れずに」を教わり「これならできそう」との感想が聞かれました。

